

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

資料6-10

I 事業実施体制等																		
1	医療機関名																	
	武蔵野赤十字病院																	
2	二次保健医療圏名																	
	北多摩南部保健医療圏																	
3	事業実施予定年月日																	
	平成29年4月1日から平成32年3月31日まで																	
事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください																		
二次保健医療圏内		二次保健医療圏外																
4	狛江市・調布市・三鷹市・武蔵野市・府中市・小金井市	西東京市・杉並区・世田谷区・国分寺市																
地域リハビリテーション支援センターの運営体制（予定）																		
設置場所		武蔵野赤十字病院リハビリテーション科内																
5	職種・人数 (H29.4.1現在)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">・医師</td> <td style="padding: 2px;">常勤：2名 非常勤：0名</td> <td style="padding: 2px;">・言語聴覚士</td> <td style="padding: 2px;">常勤：2名 非常勤：0名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">（うちリハ専門医）</td> <td style="padding: 2px;">常勤：1名 非常勤：0名</td> <td style="padding: 2px;">・ソーシャルワーカー等</td> <td style="padding: 2px;">常勤：0名 非常勤：0名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・理学療法士</td> <td style="padding: 2px;">常勤：16名 非常勤：0名</td> <td style="padding: 2px;">・事務職員</td> <td style="padding: 2px;">常勤：2名 非常勤：0名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・作業療法士</td> <td style="padding: 2px;">常勤：9名 非常勤：0名</td> <td style="padding: 2px;">・その他</td> <td style="padding: 2px;">常勤：名 非常勤：名</td> </tr> </table>	・医師	常勤：2名 非常勤：0名	・言語聴覚士	常勤：2名 非常勤：0名	（うちリハ専門医）	常勤：1名 非常勤：0名	・ソーシャルワーカー等	常勤：0名 非常勤：0名	・理学療法士	常勤：16名 非常勤：0名	・事務職員	常勤：2名 非常勤：0名	・作業療法士	常勤：9名 非常勤：0名	・その他	常勤：名 非常勤：名
・医師	常勤：2名 非常勤：0名	・言語聴覚士	常勤：2名 非常勤：0名															
（うちリハ専門医）	常勤：1名 非常勤：0名	・ソーシャルワーカー等	常勤：0名 非常勤：0名															
・理学療法士	常勤：16名 非常勤：0名	・事務職員	常勤：2名 非常勤：0名															
・作業療法士	常勤：9名 非常勤：0名	・その他	常勤：名 非常勤：名															
予定する連携施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可																		
連携予定		連携予定施設名称・所在地・連携内容																
6	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">有</div>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">（医療・介護施設名）</td> <td style="padding: 2px;">（所在地）</td> <td style="padding: 2px;">（連携内容）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">①吉祥寺南病院 ②ハウスグリーンパーク</td> <td style="padding: 2px;">①武蔵野市吉祥寺南3-14-4 ②武蔵野市緑町2-3-21</td> <td style="padding: 2px;">地域内の介護保険事業所で働くリハビリテーション職種やケアマネジャーに対する講習会・講義の実施</td> </tr> </table>		（医療・介護施設名）	（所在地）	（連携内容）	①吉祥寺南病院 ②ハウスグリーンパーク	①武蔵野市吉祥寺南3-14-4 ②武蔵野市緑町2-3-21	地域内の介護保険事業所で働くリハビリテーション職種やケアマネジャーに対する講習会・講義の実施									
（医療・介護施設名）	（所在地）	（連携内容）																
①吉祥寺南病院 ②ハウスグリーンパーク	①武蔵野市吉祥寺南3-14-4 ②武蔵野市緑町2-3-21	地域内の介護保険事業所で働くリハビリテーション職種やケアマネジャーに対する講習会・講義の実施																
7	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">有</div>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">（医療・介護施設名）</td> <td style="padding: 2px;">（所在地）</td> <td style="padding: 2px;">（協力内容）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">①杉並リハビリテーション病院 ②武蔵野陽和会病院 ③三鷹ロイヤルの丘 他</td> <td style="padding: 2px;">①杉並区西荻北2-5-5 ②武蔵野市緑町2-1-33 ③三鷹市新川5-6-24</td> <td style="padding: 2px;">・地域で働くケアマネジャー、リハビリテーション専門職種の抱えている問題の洗い出しや助言 ・各自治体における協議会設立準備</td> </tr> </table>		（医療・介護施設名）	（所在地）	（協力内容）	①杉並リハビリテーション病院 ②武蔵野陽和会病院 ③三鷹ロイヤルの丘 他	①杉並区西荻北2-5-5 ②武蔵野市緑町2-1-33 ③三鷹市新川5-6-24	・地域で働くケアマネジャー、リハビリテーション専門職種の抱えている問題の洗い出しや助言 ・各自治体における協議会設立準備									
（医療・介護施設名）	（所在地）	（協力内容）																
①杉並リハビリテーション病院 ②武蔵野陽和会病院 ③三鷹ロイヤルの丘 他	①杉並区西荻北2-5-5 ②武蔵野市緑町2-1-33 ③三鷹市新川5-6-24	・地域で働くケアマネジャー、リハビリテーション専門職種の抱えている問題の洗い出しや助言 ・各自治体における協議会設立準備																

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性（東京都保健医療計画）】

＜計画期間：平成25年4月1日から平成30年3月31日まで＞

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション提供体制の強化

現場経験が不足する若手理学療法士等の技術等の底上げを図るとともに、地域のかかりつけ医へ各地域リハビリテーション支援センターが得意とする実践的なリハビリテーションに係る知識・技術情報を提供

訪問・通所リハビリテーションの利用促進

訪問又は通所リハビリテーション事業所に対して介護支援専門員との意見交換の場を提供するとともに、介護支援専門員に対してリハビリテーションの知識・技術等に関する研修を実施することにより、訪問・通所リハビリテーションの利用促進

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域リハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進

II 事業目標（平成29年度から平成31年度まで）

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針（全体目標）

これまで実施してきた事業展開のほかに東京都理学療法士協会・東京都作業療法士協会・東京都言語聴覚士協会と連携して各自治体ごとのリハビリテーション関係職種の協議会（仮称）の設立援助を行う。それにより地域リハビリテーション事業を推進する自治体、関係団体等が参画する連絡会等に参加し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、自治体等との連携を推進する。

具体的には

1. 地域リハビリテーション事業に参加協力することでリハビリテーション関連職種の有用性を広める
2. 地域ケア会議等を通して介護支援専門員へリハビリテーションの知識・技術教育を図る
3. 脳卒中連携パスをもとに多疾患連携パスを作成し、病院と在宅部門や自治体との連携強化のための情報交換会の開催
4. 地域医師会のかかりつけ医等へリハビリテーションの連携強化のために情報交換会を開催
5. 介護予防の視点だけではなく、高齢障がい者に対する体制確立を支援する

II 事業実施内容等（必須の役割） ※全センター共通

スペースが足りない場合は、別紙での説明可

地域リハビリテーション力の向上							
1	取組目標 (1) 地域リハ支援センター主催の事業はこれまで通り継続。さらに各自治体ごとにリハ関連職種の協議会設立を目指す。協議会ごとに各自治体と共同して事業を行うことで密度の濃い地域のニーズの把握、対応が可能となることで地域リハビリテーション力の向上を図る。						
	OT・PT・ST等対象の症例発表会など【連携施設の活用可】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>テーマ（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回／29年度</td> <td>当該医療圏・近隣市区内の病医院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。その他各協議会ごとに勉強会を開催を計画</td> </tr> <tr> <td>2回 (平成30・31年度)</td> <td>上記勉強会・症例検討会を継続的に開催。各自治体協議会ごとの勉強会も継続的に開催するようにサポートし、より厚みのある実力向上を図る</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	テーマ（予定）	1回／29年度	当該医療圏・近隣市区内の病医院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。その他各協議会ごとに勉強会を開催を計画	2回 (平成30・31年度)	上記勉強会・症例検討会を継続的に開催。各自治体協議会ごとの勉強会も継続的に開催するようにサポートし、より厚みのある実力向上を図る
	実施予定回数	テーマ（予定）					
	1回／29年度	当該医療圏・近隣市区内の病医院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。その他各協議会ごとに勉強会を開催を計画					
	2回 (平成30・31年度)	上記勉強会・症例検討会を継続的に開催。各自治体協議会ごとの勉強会も継続的に開催するようにサポートし、より厚みのある実力向上を図る					
	かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>テーマ（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回／29年度</td> <td>かかりつけ医が抱えている問題点・困っていることを抽出するための意見交換会の実施</td> </tr> <tr> <td>2回 (平成30・31年度)</td> <td>上記を受けて、かかりつけ医がリハビリテーションを取り入れることなどを目的とした勉強会等を実施</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	テーマ（予定）	1回／29年度	かかりつけ医が抱えている問題点・困っていることを抽出するための意見交換会の実施	2回 (平成30・31年度)	上記を受けて、かかりつけ医がリハビリテーションを取り入れることなどを目的とした勉強会等を実施
	実施予定回数	テーマ（予定）					
	1回／29年度	かかりつけ医が抱えている問題点・困っていることを抽出するための意見交換会の実施					
2回 (平成30・31年度)	上記を受けて、かかりつけ医がリハビリテーションを取り入れることなどを目的とした勉強会等を実施						
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無							
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>有・無</td> <td>(団体・施設名) 武蔵野市医師会・三鷹市医師会（予定）・武蔵野運動器リハビリ研究会</td> </tr> </tbody> </table>	有・無	(団体・施設名) 武蔵野市医師会・三鷹市医師会（予定）・武蔵野運動器リハビリ研究会					
有・無	(団体・施設名) 武蔵野市医師会・三鷹市医師会（予定）・武蔵野運動器リハビリ研究会						
これまでの取組状況							
(4) 武蔵野運動器リハ研究会と共催で3回/年で研究会を開催し、クリニックで働く医師・リハ関連職種との連携を深め、技術力向上を図っている。							
2	取組目標 (1) ①在宅で自立した生活を目指すためのアプローチや指導法について介護従事者に情報提供を行うとともに、リハビリテーションを進めるうえでの相談支援を行う。 ②ケアマネジャーに対して在宅リハビリテーションサービスの利用方法を指導し、相談支援を行う。						
	リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約5回／29年度</td> <td>症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加</td> </tr> <tr> <td>約10回 (平成30・31年度)</td> <td>上記取組の継続</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	約5回／29年度	症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加	約10回 (平成30・31年度)	上記取組の継続
	実施予定回数	取組予定内容					
	約5回／29年度	症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加					
	約10回 (平成30・31年度)	上記取組の継続					
	ケアマネジャーへの研修【連携施設の活用可】						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約3回／29年度</td> <td>症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加</td> </tr> <tr> <td>約10回 (平成30・31年度)</td> <td>上記取組の継続</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	約3回／29年度	症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加	約10回 (平成30・31年度)	上記取組の継続	
実施予定回数	取組予定内容						
約3回／29年度	症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加						
約10回 (平成30・31年度)	上記取組の継続						
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無							
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>有・無</td> <td>(団体・施設名) 北多摩南部保健医療圏各市介護保険課</td> </tr> </tbody> </table>	有・無	(団体・施設名) 北多摩南部保健医療圏各市介護保険課					
有・無	(団体・施設名) 北多摩南部保健医療圏各市介護保険課						

2	ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】					
	(4)	<table border="1"> <tr> <th>相談受付方法</th> <th>相談受付日・時間</th> </tr> <tr> <td>電子メール・FAXで相談受付 地区別ケース検討会への参加</td> <td>随時</td> </tr> </table>	相談受付方法	相談受付日・時間	電子メール・FAXで相談受付 地区別ケース検討会への参加	随時
	相談受付方法	相談受付日・時間				
	電子メール・FAXで相談受付 地区別ケース検討会への参加	随時				
	(5)	<p>これまでの取組状況</p> <p>病院ホームページ上に地域リハビリテーション支援センターの紹介と相談受付メールアドレス・FAX番号の表示。東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部作成のテキストを使用しての講習会では地域リハビリテーション支援センターの紹介と相談メールアドレスの提示を行ってきた。ケアマネジャー等からの相談にはリハビリテーション専門医が対応している。</p> <p>平成28年度上半期（4月～9月）のケアプラン相談支援受付実績</p> <p>2件</p>				

地域リハビリテーション関係者との連携強化											
3	(1)	<p>取組目標</p> <p>各自自治体ごとのリハビリテーション関連職種の協議会設立を目指す。各協議会ごとに自治体・社会福祉協議会・地域リハビリテーションに関連した協議会・医師会との連携を確立していく際のバックアップを行う。</p>									
	(2)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">設置を予定する地域協議会（連絡会）</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>参加予定機関・施設（参加予定職種）</th> <th>実施予定回数</th> </tr> <tr> <td>①三鷹市POSTの会 ②ちょうふ地域リハビリテーション連絡協議会 ③府中市 ④狛江市</td> <td>①杏林大学病院・つばさ等のPT・OT・ST ②永研会クリニック・多摩川病院他8施設PT・OT・ST ③LIC訪問看護が主体となって設立予定 ④今後設立予定</td> <td>随時 回／29年度 随時 回（3年間計）</td> </tr> </table>	設置を予定する地域協議会（連絡会）			名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数	①三鷹市POSTの会 ②ちょうふ地域リハビリテーション連絡協議会 ③府中市 ④狛江市	①杏林大学病院・つばさ等のPT・OT・ST ②永研会クリニック・多摩川病院他8施設PT・OT・ST ③LIC訪問看護が主体となって設立予定 ④今後設立予定	随時 回／29年度 随時 回（3年間計）
	設置を予定する地域協議会（連絡会）										
名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数									
①三鷹市POSTの会 ②ちょうふ地域リハビリテーション連絡協議会 ③府中市 ④狛江市	①杏林大学病院・つばさ等のPT・OT・ST ②永研会クリニック・多摩川病院他8施設PT・OT・ST ③LIC訪問看護が主体となって設立予定 ④今後設立予定	随時 回／29年度 随時 回（3年間計）									
(3)	<p>これまでの取組状況</p> <p>①武蔵野市PT・OT・ST協議会・②小金井リハビリ協議会については既設。①では武蔵野市・武蔵野市民社会福祉協議会・医師会・薬剤師会・ヘルパーの会などと連携が強化されつつあり、市の行事にも呼ばれるようになってきている。②についても小金井市と共同して地域リハビリ事業である介護予防事業を推進している。</p>										

若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入								
4	(1)	<p>取組目標</p> <p>急性期医療におけるリハビリテーションの実際を知ってもらう。疾患の急性期からどのようなリハビリテーションを経て回復期・生活期に移行してくるのかを理解してもらい、自身の職務に生かしてもらう</p>						
	(2)	<table border="1"> <tr> <th>受入予定人数</th> <th>研修内容（予定）</th> </tr> <tr> <td>0 人／29年度</td> <td>現状ではまだ受け入れ態勢が整っていない（指導する職員不足）ので次年度以降の計画としたい</td> </tr> <tr> <td>1 人 (平成30・31年度)</td> <td>準備が整い次第、開始予定</td> </tr> </table>	受入予定人数	研修内容（予定）	0 人／29年度	現状ではまだ受け入れ態勢が整っていない（指導する職員不足）ので次年度以降の計画としたい	1 人 (平成30・31年度)	準備が整い次第、開始予定
	受入予定人数	研修内容（予定）						
0 人／29年度	現状ではまだ受け入れ態勢が整っていない（指導する職員不足）ので次年度以降の計画としたい							
1 人 (平成30・31年度)	準備が整い次第、開始予定							

Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割） スペースが足りない場合は、別紙での説明可

区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可		
支援予定	実施自治体名	支援内容
有 無	武蔵野市	武蔵野市主催の介護支援専門員研修会の中で症例検討会を実施する。参加予定は約40名。
1	<p>これまでの取組状況</p> <p>これまでも、1回/年のペースで症例検討会を実施。介護支援専門員が担当している症例の中から生活機能維持に難渋しているケースを提示し、リハビリテーション専門医が助言を与えている。例年参加者は、約40名/回。</p>	

脳卒中医療連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
支援予定		支援内容		
2	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	北多摩南部脳卒中ネットワーク研究会の作成した北多摩南部脳卒中地域連携診療計画書の運営をリハビリテーションの立場から支援する。		
	これまでの取組状況			
北多摩南部脳卒中地域連携診療計画書の運営の中で、①リハビリテーション部門の様式作成の際、各病院・介護保険施設・ケアマネジャーの記載内容等について意見集約を行った。②今後の脳卒中地域連携の在り方についての意見交換の場として、地域の医療連携実務担当者連絡会を開催した。				
高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
支援予定		支援内容		
3	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	①北多摩南部高次脳機能障害支援普及事業と共に高次脳機能障害者の支援について考えていく。 ②武蔵野市高次脳機能障害者関係機関連絡会・調布市高次脳機能障害者支援促進事業関係機関連絡会とは高次脳機能障害者の在宅生活支援・就労支援について医療者側の立場から福祉側の人材と問題点を共有していく。		
	これまでの取組状況			
①北多摩南部高次脳機能障害支援普及事業の委員会に参加し、意見交換を行った。 ②各地域の高次脳機能障害者支援団体の主催する研修会の企画検討会に参加して助言等を行い、地域の福祉職などと意見交換を行った。また、福祉職に対する研修会にも講師を派遣し、高次脳機能障害に対する病院の取組について講義を行った。				
介護予防における地域リハビリテーション促進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
支援予定		支援内容		
4	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	各自治体からの要請に従い、各市の協議会から人材の派遣、事業参加をしていく。また、各自治体介護支援課などに協議会として協力できる体制を構築していく。		
	これまでの取組状況			
武蔵野市においては『いきいきサロン事業』の体操指導に対して体力測定を行い効果測定を施行することで、参加者のリスク管理を担当した。調布市においては地域リハビリテーション活動支援事業開始に当たり講演会を実施し、『からだと用具の総合相談室』の人材派遣等の相談に協力した。三鷹市でも同様の事業の支援を行っている。				
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その1）				
5	区分		実施予定	予定有とした項目については次頁も記入
	(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(4)	地域の関係団体の支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(5)	連絡会、事例検討会の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	

地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その2）					
地域のリハビリテーション従事者の研修、援助					
(1)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	若手リハビリテーション従事者は、障害の要因となった内部疾患などの合併症に対する知識が不十分である。	基礎疾患や内部疾患に関する知識を充実し、地域で働く若手従事者の育成を図る	講義の実施	在宅で働くリハビリテーション専門職（職務経験3年未満）	6回 (3年間)
	これまでの取組状況 昨年は『心不全』、今年は『呼吸器疾患』について医師、看護師、栄養士、理学療法士から講義を実施した。参加は100余名の参加を得、好評であった。				
直接地域住民と接する相談機関の支援					
(2)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	ケアマネジャーなどが在宅生活における福祉用具・住宅改修などの適応がわからない	在宅療養患者の個別ケースにおける相談受付	電子メールにより相談受付	ケアマネジャー	随時 (3年間)
	これまでの取組状況 随時メールで受付を行い、リハビリテーション専門医が回答を行ってきた。				
福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援					
(3)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	自治体の介護予防事業の一環の福祉用具レンタルの選定がわからない	自治体に協力して選定業務にかかわる	福祉用具選定者の選出	リハビリテーション関連職種	10回 (3年間)
	これまでの取組状況 調布市においては地域リハビリテーション活動支援事業開始に当たり講演会を実施し、『からだと用具の総合相談室』の人材派遣等の相談に協力した。				
地域の関係団体の支援					
(4)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	地域で高次脳機能障害者に対する評価ができる人材が少ない	高次脳機能障害者の評価ができる人材を育成する	講習会の実施	保健師 福祉職員	3回 (3年間)
	これまでの取組状況 調布市において高次脳機能障害関係機関連絡会主催の症例検討会に言語聴覚士とともにファシリテーターとして参加し、症例検討を行った。				
連絡会、事例検討会の実施					
(5)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	若手リハビリテーション従事者は経験症例が少ない	症例検討会を通じて経験が浅い若手従事者の事例対応能力を高める	症例検討会の実施	在宅で働くリハビリテーション専門職（職務経験3年未満）	3回 (3年間)
	これまでの取組状況 症例検討会を1回/年で実施。平成25年度は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが提示した検討症例数は7症例、約100名の参加者が集まり、好評であった。				
その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業					
(6)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	地域のリハビリテーション専門職と専門職の職能団体との情報共有が不十分である	職能団体と地域が抱える問題点やニーズを共有し、解決を図る	団体が開催する勉強会・講演会に協力する	地域で働くリハビリテーション専門職	6回 (3年間)
	これまでの取組状況 東京都理学療法士協会北多摩ブロックと協力して症例検討会を実施。（5）と合わせて、地域内で年間2回の症例検討会を実施している。				

地域リハビリテーション支援センター指定（平成29年4月）に係る調査票

医療機関名： 武蔵野赤十字病院

記入年月日： 平成28年12月08日

1 病院の概要	
所在地	武蔵野市境南町1-26-1 (北多摩南部医療圏)
開設年月日	昭和24年 11月 30日
設置目的	戦災により都内医療機関の多くが焼失したことを受け、都民の衛生・医療面が憂慮される状況にあったため、その解消を目的に日本赤十字社東京都支部管下の病院として設置された。以後、北多摩南部保健医療圏における中核病院としての地域医療の展開、高度救急医療の提供、また災害時における医療救護活動を行うことを目的としている。
診療科目	総合診療科/膠原病・リウマチ内科/感染症科/腎臓内科/血液内科/腫瘍内科/内分泌代謝科/循環器科/消化器科/呼吸器科/神経内科/外科/乳腺科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/産婦人科/小児科/新生児科/耳鼻咽喉科/眼科/皮膚科/泌尿器科/放射線科/脳神経外科/心療内科・精神科/形成外科/麻酔科/リハビリテーション科/特殊歯科・口腔外科
指定医療	保険医療機関(国民健康保険法・健康保険法) 生活保護法指定医療機関 その他
病床数	一般病床 591床 感染症病床 20床(うちリハビリ専門病床 0床)
訪問・通所リハビリ	<input type="checkbox"/> 訪問リハビリ (<input type="checkbox"/> 医療保険 <input type="checkbox"/> 介護保険) <input type="checkbox"/> 通所リハビリ(介護保険)
併設施設	救命救急センター, 脳卒中センター, 医療連携センター, 在宅介護支援センター他

2 指定要件の充足状況

① 診療体制																														
地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度 (4月から9月まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">医療従事者</td> <td>専従医師</td> <td>常勤 204 名 非常勤 14.6 名</td> <td>常勤 216 名 非常勤 13.8 名</td> </tr> <tr> <td>(うちリハ専門医)</td> <td>常勤 1 名 非常勤 0 名</td> <td>常勤 1 名 非常勤 0 名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>常勤 15 名 非常勤 0 名</td> <td>常勤 16 名 非常勤 0 名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>常勤 9 名 非常勤 0 名</td> <td>常勤 9 名 非常勤 0 名</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>常勤 1 名 非常勤 0 名</td> <td>常勤 1 名 非常勤 0 名</td> </tr> <tr> <td>ソーシャルワーク従事者</td> <td>常勤 4 名 非常勤 0 名</td> <td>常勤 4 名 非常勤 0 名</td> </tr> <tr> <td>医療施設</td> <td>施設基準</td> <td colspan="2"> <input checked="" type="checkbox"/>脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/>呼吸器リハ料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/>運動器リハビリテーション料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/>心大血管リハ料(Ⅰ) </td> </tr> </tbody> </table>				平成27年度		平成28年度 (4月から9月まで)		医療従事者	専従医師	常勤 204 名 非常勤 14.6 名	常勤 216 名 非常勤 13.8 名	(うちリハ専門医)	常勤 1 名 非常勤 0 名	常勤 1 名 非常勤 0 名	理学療法士	常勤 15 名 非常勤 0 名	常勤 16 名 非常勤 0 名	作業療法士	常勤 9 名 非常勤 0 名	常勤 9 名 非常勤 0 名	言語聴覚士	常勤 1 名 非常勤 0 名	常勤 1 名 非常勤 0 名	ソーシャルワーク従事者	常勤 4 名 非常勤 0 名	常勤 4 名 非常勤 0 名	医療施設	施設基準	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器リハ料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/> 心大血管リハ料(Ⅰ)	
		平成27年度		平成28年度 (4月から9月まで)																										
医療従事者	専従医師	常勤 204 名 非常勤 14.6 名	常勤 216 名 非常勤 13.8 名																											
	(うちリハ専門医)	常勤 1 名 非常勤 0 名	常勤 1 名 非常勤 0 名																											
	理学療法士	常勤 15 名 非常勤 0 名	常勤 16 名 非常勤 0 名																											
	作業療法士	常勤 9 名 非常勤 0 名	常勤 9 名 非常勤 0 名																											
	言語聴覚士	常勤 1 名 非常勤 0 名	常勤 1 名 非常勤 0 名																											
	ソーシャルワーク従事者	常勤 4 名 非常勤 0 名	常勤 4 名 非常勤 0 名																											
医療施設	施設基準	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器リハ料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料(Ⅰ) <input checked="" type="checkbox"/> 心大血管リハ料(Ⅰ)																												
※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。																														
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> [</div>																														

② 連携体制						
他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること						
		平成27年度		→	平成28年度 (4月から9月まで)	
医療機関 との連携 状況	紹介患者数 (うちリハ部門)	25922 0	人 人		13100 0	人 人
	逆紹介患者数 (うちリハ部門)	27782 0	人 人		12240 0	人 人
	紹介率 (うちリハ部門)	91.9 0	% %	→ →	93.9 0	% %
	逆紹介率 (うちリハ部門)	98.5 0	% %	→ →	87.7 0	% %
	連携病院数 (うちリハ部門)	55 32	施設 施設	→ →	55 32	施設 施設
	連携診療所数 (うちリハ部門)	816 0	施設 施設	→ →	839 0	施設 施設
	福祉施設等 との連携状況	連携施設数 (うちリハ部門)	9 0	施設 施設	→ →	9 0
<p>※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。</p> <p>(脳卒中・大腿骨頸部骨折の患者が転院する際には当医療圏で作成した連携パスを使用して転院している。それ以外の疾患でもリハビリサマリを作成して送付している。自宅退院時でも作成し、介護保険でのケアプラン作成時に活用している。また、必要に応じて自宅を訪問し、家屋評価をしている。その結果を看護師・ケアマネジャーが参加する退院時カンファレンス等に活用し、維持期への橋渡しを行っている。)</p>						
③ 相談体制						
地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を提供できる体制にあること						
相談窓口設置の有無		取組状況				
有		①当病院のホームページ上にリハビリテーション支援センター相談窓口用のメールアドレスを掲載。地域の医療機関・福祉施設・ケアマネジャーからのリハビリテーションに関する相談を当リハビリテーション科職員が受け付けている。				
無		②リハビリテーション科医師・理学療法士が各地域で実施されている地区別ケース検討会に出向き、提示された症例についてリハビリテーションの視点でアドバイスを行っている。				
④ 研修体制						
地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、必要な研修を実施できる体制にあること						
研修実施の有無		取組状況				
有		地域リハビリテーション支援センターとして当リハビリテーション科職員が主体となって地域のリハビリテーション従事者向けに症例検討会、講演会を開催したり、ケアマネジャー向け研修会を実施する体制を構築している。				
無						